



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年1月31日
上場取引所 東

上場会社名 伊藤忠食品株式会社

コード番号 2692 URL <https://www.itochu-shokuhin.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 岡本 均

問合せ先責任者 (役職名) 経財本部本部長 (氏名) 濱田 英樹 TEL 03-5411-8597

四半期報告書提出予定日 2023年2月8日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満四捨五入)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	501,790	5.1	7,310	27.9	8,473	23.1	5,917	19.8
2022年3月期第3四半期	477,543	-	5,714	-	6,884	-	4,938	-

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 5,995百万円 (75.7%) 2022年3月期第3四半期 3,413百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	466.36	-
2022年3月期第3四半期	389.20	-

(注) 「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を前第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年3月期第3四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、対前年同四半期増減率は記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	312,733	100,217	32.0
2022年3月期	236,668	95,249	40.2

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 100,197百万円 2022年3月期 95,219百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	-	40.00	-	40.00	80.00
2023年3月期	-	40.00	-	-	-
2023年3月期（予想）	-	-	-	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	630,000	2.8	6,100	3.6	7,300	0.4	4,700	8.9	370.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	12,720,000株	2022年3月期	12,720,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	32,847株	2022年3月期	32,847株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	12,687,153株	2022年3月期3Q	12,687,217株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	9
販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が残るものの、行動制限の緩和により徐々にウィズコロナを前提とした新たな生活様式の定着化が進みました。11月以降、円安基調の衣服感、また軟調に推移している資源・原油価格等、一部経済の復調要素もあるものの、幅広い商品価格の引き上げ等は今後も続くと思われ、先行き不透明な状況が続いております。

食品流通業界におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響による巣ごもり需要の減退がスーパーマーケット等で見られた一方、人流の回復により、外食業界やコンビニエンスストア等は復調が見られました。他方、円安や原材料・原油の価格高騰等を理由としたインフレ加速により実質賃金は減少し、消費者の生活防衛意識が高まってきています。

このような状況下、当社グループは引き続き食品流通の中核機能を担う卸売業として、豪雨や台風などの自然災害の発生時においても食品の安定供給維持に努め、エッセンシャルワーカーとしての責務を果たすとともに、最終年度である中期経営計画「Transform2022」で掲げている各重点施策を着実に推し進め、消費者及び製配販で形成するエコシステムの構築に注力しました。具体的には、「DELISH KITCHEN」のレシピ動画や、商品広告などにより消費者の購買意欲を喚起する店頭サイネージの設置拡大や冷凍食品ブランド「凍眠市場」の販路拡大などに取り組み、消費者目線の新しい売場を提案しております。物流においては、2024年問題やコスト増加等の共通の課題解決に向けて業界全体で取り組み、サプライチェーン全体の効率化を図っております。また、2022年5月に経済産業省が定めるDX認定事業者認定され、ハイブリッド型展示会の開催等、デジタル技術の活用も推進しております。これらの新たな付加価値の提案を通じた消費者起点での営業活動の強化を今後も加速してまいります。

サステナビリティへの取り組みでは、2030年までの長期目標を設定いたしました。温室効果ガス排出量の削減、食品廃棄量の削減、ダイバーシティ推進、健康経営推進などの各マテリアリティに掲げた項目への全社的取り組みを推進し、SDGs達成に資する取り組みの深化を図ってまいります。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、緊急事態宣言及びまん延防止法等重点措置が実施されていた前年の巣ごもり需要の減退影響はあるものの、外食・業務用取引や一部のGMS・SM取引の拡大等により、前年同期比24,247百万円(5.1%)増収の501,790百万円となりました。

利益面では取引拡大及び採算改善努力により、営業利益は前年同期比1,596百万円(27.9%)増益の7,310百万円、経常利益は前年同期比1,589百万円(23.1%)増益の8,473百万円となりました。その結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比979百万円(19.8%)増益の5,917百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は312,733百万円となり、前連結会計年度末に比べ76,065百万円の増加となりました。これは、歳暮シーズンによるギフト取引増、年末・年始の食品需要増等により売上債権が43,999百万円増加、未収入金が7,769百万円増加、年始に向けた在庫備蓄等により商品及び製品が9,727百万円増加、また年末休日要因及び営業活動による収入等によりグループ預け金が14,400百万円増加したことなどによるものであります。

負債は、212,516百万円となり、前連結会計年度末に比べ71,097百万円の増加となりました。これは、資産の増加と同様の要因により仕入債務が69,148百万円増加したことなどによるものであります。

純資産は、100,217百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,968百万円の増加となりました。これは、利益剰余金が4,901百万円増加したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第4四半期連結会計期間においては、国内の急速なインフレ進行と実質賃金の減少を理由とした消費者の生活防衛的な需要低下、資源価格上昇による電力価格の高騰、人手不足による人件費の上昇等コストアップの影響は今後加速していくものと思われま。これらの傾向に加え物流の2024年問題や環境対策等の社会的課題への対応、DX推進に伴うITインフラの再構築等、当社が可及的速やかに対処すべき課題は山積しているものと認識しております。

当社は将来の持続的成長を着実なものにするために低重心の経営を標榜し、每期着実に将来懸念を払拭してまいりました。今般の経営環境・予測を元にリクスマネジメントの観点で再点検し、より強靱な体制を進めてまいります。

IT関連新規システム立ち上げに伴う旧システムからの移行時期の前倒し、物流施設の統廃合や、保有株式等あらゆる資産や既契約に関する懸念は出来る限り適時に処理する方針です。また現中期経営計画で注力している広告事業や惣菜関係等の先行投資も加速してまいります。

第3四半期連結累計期間迄順調に推移しておりますが、上記の通り将来の懸念一掃への対策や成長に向けての販促投資の詳細は今後逐次実行していくため、現時点において2022年4月28日に公表した通期連結業績予想は据え置きとし、変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,267	1,276
受取手形及び売掛金	85,398	129,397
商品及び製品	14,419	24,146
未収入金	23,000	30,768
グループ預け金	49,400	63,800
その他	379	523
貸倒引当金	△292	△324
流動資産合計	173,571	249,586
固定資産		
有形固定資産	17,518	16,376
無形固定資産	1,843	3,179
投資その他の資産		
投資有価証券	31,445	31,619
関係会社出資金	385	435
長期貸付金	1,371	1,292
繰延税金資産	149	126
退職給付に係る資産	1,598	1,655
差入保証金	8,394	8,093
その他	415	394
貸倒引当金	△22	△22
投資その他の資産合計	43,735	43,591
固定資産合計	63,096	63,147
資産合計	236,668	312,733
負債の部		
流動負債		
買掛金	117,171	186,319
リース債務	759	711
未払法人税等	1,262	818
賞与引当金	1,349	540
役員賞与引当金	82	41
その他	10,259	13,958
流動負債合計	130,881	202,386
固定負債		
リース債務	5,024	4,500
繰延税金負債	2,965	3,191
設備休止損失引当金	4	4
資産除去債務	1,199	1,201
退職給付に係る負債	357	335
その他	989	898
固定負債合計	10,537	10,129
負債合計	141,418	212,516

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,923	4,923
資本剰余金	7,165	7,165
利益剰余金	73,484	78,385
自己株式	△113	△113
株主資本合計	85,459	90,360
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,786	9,890
退職給付に係る調整累計額	△25	△52
その他の包括利益累計額合計	9,760	9,837
非支配株主持分	31	20
純資産合計	95,249	100,217
負債純資産合計	236,668	312,733

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	477,543	501,790
売上原価	449,839	471,806
売上総利益	27,704	29,984
販売費及び一般管理費	21,990	22,674
営業利益	5,714	7,310
営業外収益		
受取利息	114	96
受取配当金	747	726
不動産賃貸料	240	208
持分法による投資利益	109	100
その他	192	209
営業外収益合計	1,403	1,340
営業外費用		
支払利息	95	84
不動産賃貸費用	118	76
その他	19	16
営業外費用合計	233	176
経常利益	6,884	8,473
特別利益		
固定資産売却益	—	22
投資有価証券売却益	119	—
特別利益合計	119	22
特別損失		
投資有価証券評価損	29	—
特別損失合計	29	—
税金等調整前四半期純利益	6,974	8,495
法人税、住民税及び事業税	1,867	2,339
法人税等調整額	167	238
法人税等合計	2,034	2,577
四半期純利益	4,940	5,918
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,938	5,917

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	4,940	5,918
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,493	85
退職給付に係る調整額	△28	△27
持分法適用会社に対する持分相当額	△6	19
その他の包括利益合計	△1,527	77
四半期包括利益	3,413	5,995
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,412	5,994
非支配株主に係る四半期包括利益	1	2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)及び

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

当社及び連結子会社の報告セグメントは、食料品卸売事業のみであり、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。

3. 補足情報

販売の状況

①商品分類別売上高

商品分類	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	率
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
ビール	109,081	22.8	118,306	23.6	9,226	8.5
和洋酒	77,294	16.2	78,746	15.7	1,452	1.9
調味料・缶詰	74,181	15.5	78,904	15.7	4,723	6.4
嗜好品・飲料	112,609	23.6	119,329	23.8	6,721	6.0
麺・乾物	33,790	7.1	35,177	7.0	1,387	4.1
冷凍・チルド	19,536	4.1	20,385	4.0	849	4.3
ギフト	33,494	7.0	32,963	6.6	△530	△1.6
その他	17,559	3.7	17,979	3.6	420	2.4
合計	477,543	100.0	501,790	100.0	24,247	5.1

②業態別売上高

業態	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	率
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
卸売業	24,997	5.2	27,321	5.4	2,324	9.3
百貨店	14,358	3.0	16,015	3.2	1,657	11.5
GMS・SM	263,892	55.3	270,000	53.8	6,108	2.3
CVS	52,731	11.0	56,579	11.3	3,848	7.3
ドラッグストア	47,518	10.0	51,209	10.2	3,691	7.8
その他小売業	52,279	10.9	59,003	11.8	6,724	12.9
その他	21,769	4.6	21,663	4.3	△106	△0.5
合計	477,543	100.0	501,790	100.0	24,247	5.1

- (注) 1 GMSはゼネラル・マーチャндаイズ・ストアであります。
2 SMはスーパーマーケットであります。
3 CVSはコンビニエンスストアであります。